



令和6年11月5日

担当課	文化振興課（博物館）
担当者	前田
電話	423-0003
内線	

かんかいかく

観海閣・鬼瓦の特別展示を博物館で開催します

和歌山市立博物館では、公益財団法人和歌山県文化財センターと連携し、再現された観海閣鬼瓦と江戸時代の鬼瓦の実物資料を並べて展示します。和歌浦の景観に大きく寄与してきた観海閣の歴史に触れていただくことができます。今後、新築工事により観海閣の屋根の上に据えられるため、新旧の鬼瓦を一度に間近で見られるのは、今回が最初で最後の機会となります。



和歌浦の妹背山に建つ観海閣
(大正～昭和初期の絵葉書)

1. 期間 令和6年11月6日（水）～11月24日（日）
休館日：月曜日（11月4日は開館）、11月5日
2. 開館時間 9時～17時（ただし入館は16時30分まで）
3. 会場 和歌山市立博物館 玄関ホール（無料）
〒640-8222 和歌山市湊本町3-2
Tel：073-423-0003 Fax：073-432-9040



江戸時代の観海閣の鬼瓦
(慶応3年=1867年)



再現された観海閣の鬼瓦
(総幅 1,050 mm、総高 930 mm)

【観海閣・鬼瓦】

観海閣は17世紀半ば、紀州藩初代藩主徳川頼宣よりのがにより和歌浦湾の小島・妹背山の東端に、海にせり出す形で建てられた建物です。江戸時代から誰もが自由に利用することができ、幕末や昭和36年（1961）の第2室戸台風で倒壊した後も、再建されました。

第2室戸台風被災後に鉄筋コンクリート造で再建された観海閣の老朽化に伴い、建て直す事業が和歌山県によって進められ、公益財団法人和歌山県文化財センターが実施設計を行っています。設計には古材や古写真、発掘調査の成果などが反映されていますが、屋根の大棟に載る鬼瓦は、和歌山市所蔵の幕末の観海閣に葺かれていた鬼瓦をもとに復元的な設計がなされています。